

# HEISEI TIMES

2009  
vol.7

Published by  
HEISEI COLLEGE OF  
MEDICAL TECHNOLOGIES  
「ヘイセイ タイムズ」

HEISEI

HEISEI TIMES

2009 vol.7

「ヘイセイ タイムズ」 第7号 2009年10月発行

【Interview】 Who's hand? ガンバ大阪ユース・Jr ユーストレーナーに聞く  
**玉置 × 益 × 荻堂**



玉置亮平  
「日々一歩一歩自分を向上」

益賢明  
「毎日毎日が勉強」

荻堂博行  
「いつも感謝の気持ちを忘れない」

## 編集後記

本誌は本号からデザインを変え新しい誌面体裁でお届けいたします。本校でも米澤初代校長ご逝去のあと、岸野理事長がしばらく校長職を兼任しておりましたが、今年度より金田正徳校長(前、副校長)が就任、教育運営に清新な活力が期待されています。去る四月二十九日に催された学園祭「雅祭」は前年の経験と実績を踏まえ、イベント、学術、屋台村の各ゾーンで一層盛り上がりその意義を十分に全うしました。

しかしゴールデンウィーク後の五月、新型インフルエンザの世界的流行が日本にも波及し、本校でも一週間の学校閉鎖(休校)を余儀なくされ、その分、夏休みをさいて穴埋めしなければならぬ事態となりました。スペイン風邪の猛威から九十年、秋から冬にかけての流行にそなえ、体力(免疫力)の増強を図るなど各位で自衛に最善を尽くしてください。

## 「ヘイセイ タイムズ」 第7号 2009年10月発行

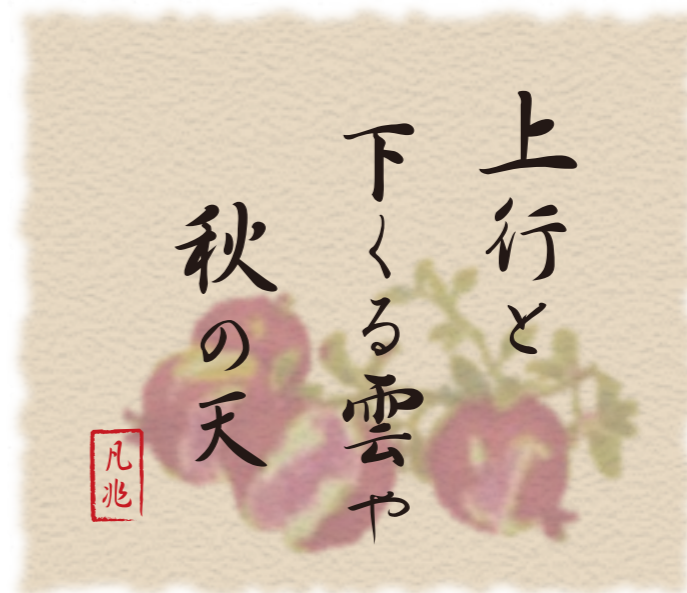
【発行】  
学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校  
〒531-0071 大阪市北区中津 6-10-15  
tel.(06)6454-1500(代)

【発行人】  
学校法人平成医療学園 平成医療学園専門学校  
理事長 岸野 雅方

【編集委員】  
中谷裕之 久米建寿 内野勝郎  
竹本晋史



# 五行を考える①



今年のNHKテレビ大河ドラマの題名は「天地人」。天(陽)と地(陰)の働きが相互に作用し合って人(生命・生物)を生成するという中国古来の宇宙観コスモロジー―三才観(三元論)に基づいています。

三才観は陰陽思想(二元論)とならぶ根本理念で、東洋医学の「気・血・水」や「三陰三陽」などに表れていますが、この両者が折衷され、考え出されたのが五行説と申せましょう。

五行(木・火・土・金・水)は単に森羅万象を構成する五要素というにとどまらず、陰陽思想と一体化し、気の五つの様態として空間および時間の双方を表記する概念となりました。

つまり  
陽⇨木(東・春/朝)と火(南・夏/昼)  
陰⇨金(西・秋/夕)と水(北・冬/夜)  
陰陽半々⇨土(中央・土用)  
というわけです。

久米 建寿

# 患者さんが納得する治療を提供しよう!

整(接)骨院・鍼灸院が乱立する中、皆さんは他の競合院と同じことをしていませんか? 患者さんが求めているのは何なのかを、今一度考えてみてください。  
患者さんは、癒しだけを求めている訳ではありません。苦痛があるから来るのです。その苦痛を取り除くためには、正確な診察と的確な治療が必要になります。我々と勉強会にて、切磋琢磨しましょう!

# 貞友会 What's Teiyukai?



## 平成21年度 勉強会日程

橋本多間塾	トリガーポイント	カイロプラクティック
10月 4日 予定	6月 14日 終了	6月 21日 終了
11月 3日 予定	7月 12日 終了	7月 26日 終了
12月 6日 予定	8月 2日 終了	8月 23日 終了
1月 10日 予定	9月 13日 終了	9月 27日 終了
	10月 25日 予定	10月 25日 予定
	11月 29日 予定	11月 29日 予定
	12月 13日 予定	12月 20日 予定
	1月 17日 予定	1月 24日 予定
	2月 21日 予定	2月 21日 予定
	3月 28日 予定	3月 28日 予定
	超音波画像	栄養学
	6月 28日 終了	1月 31日 予定
		2月 14日 予定

## CONTENTS

02 What's 貞友会? 「患者さんが納得する治療を提供しよう!」

03 Who's hand? 玉置×益×荻堂

07 平田耕一 [東洋医学のすすめ] 「蠱溝穴の効用と前立腺がんの症例」

09 雅祭 [平成フレッシュアイ] 学園祭

内野勝郎 [ひとことコラム] 「ボランティアについて、どう考えますか?」

10 ボランティア活動 [平成医療学園 info] 国家試験、平成21年度入学式、柔道大会優勝報告



2009 vol.7 「ヘイセイタイムズ」

Published by HEISEI COLLEGE OF MEDICAL TECHNOLOGIES



「卒業生インタビュー」

# 「トレーナー対談」

## Interview

本校卒業生で現在、ガンバ大阪ユース・Jrユースでトレーナーとして活躍しておられる3人の先生方。実際のスポーツ現場での貴重なお話を伺いました。

玉置先生と益先生は平成の教員をしながら、萩堂先生は治療院に勤務しながら、ガンバ大阪で育成年代のトレーナーをされているわけですが、まず最初に、皆さんがなぜスポーツトレーナーという仕事を目指されたのか、そのきっかけを教えてくださいませんか？

**玉置** 「小学校からサッカーをやっていたんですけど、大学で学生トレーナーをしている時に、スポーツトレーナーを目指そうと思いました。大学のクラブや高校の全国大会にもトレーナーとして帯同したりしているうちに、ちゃんと柔道整復師と鍼灸の資格を取って、本格的にやってみたいと思ったんです。確か大学3年生の終わり頃でした。父が教師をしていて、教え子の方のひとりがたまたま平成の先生と知り合いましたというところで、家から近いこともあり、その方の紹介で受験しました」

**益** 「僕はずっと柔道をやっていて、その師匠というのが柔道整復師の先生で、接骨院をしながら僕ら高校生に柔道を教えてもらったんです。強くもあるし、ケガをしたら診てもらえるしという、先生に対する完全な憧れですね。こういう人になりたいなと思いついたらなれるんだらうと調べはじめて、そこからです。いろいろな学校の資料を取り寄せる中で、他の学校はほとんど試験日が終わっていて、たまたま試験の日が一番早かったのが平成でした(笑)」

**萩堂** 「僕は高校を出て社会人を経験してから、スポーツトレーナーを目指しました。もともとサッカーをやっていたこともあって、スポーツに携われる仕事はないかと探していたんです。実際に僕も選手の時ケガをしまして、最後の大会を中途半端で終わるという体験をしたものから、情報を集めながら『こういうトレーナーさんがいれば自分たちのチームももっといい状態で大会に臨めたの』と思い、飛び込んでみる決心をしました」

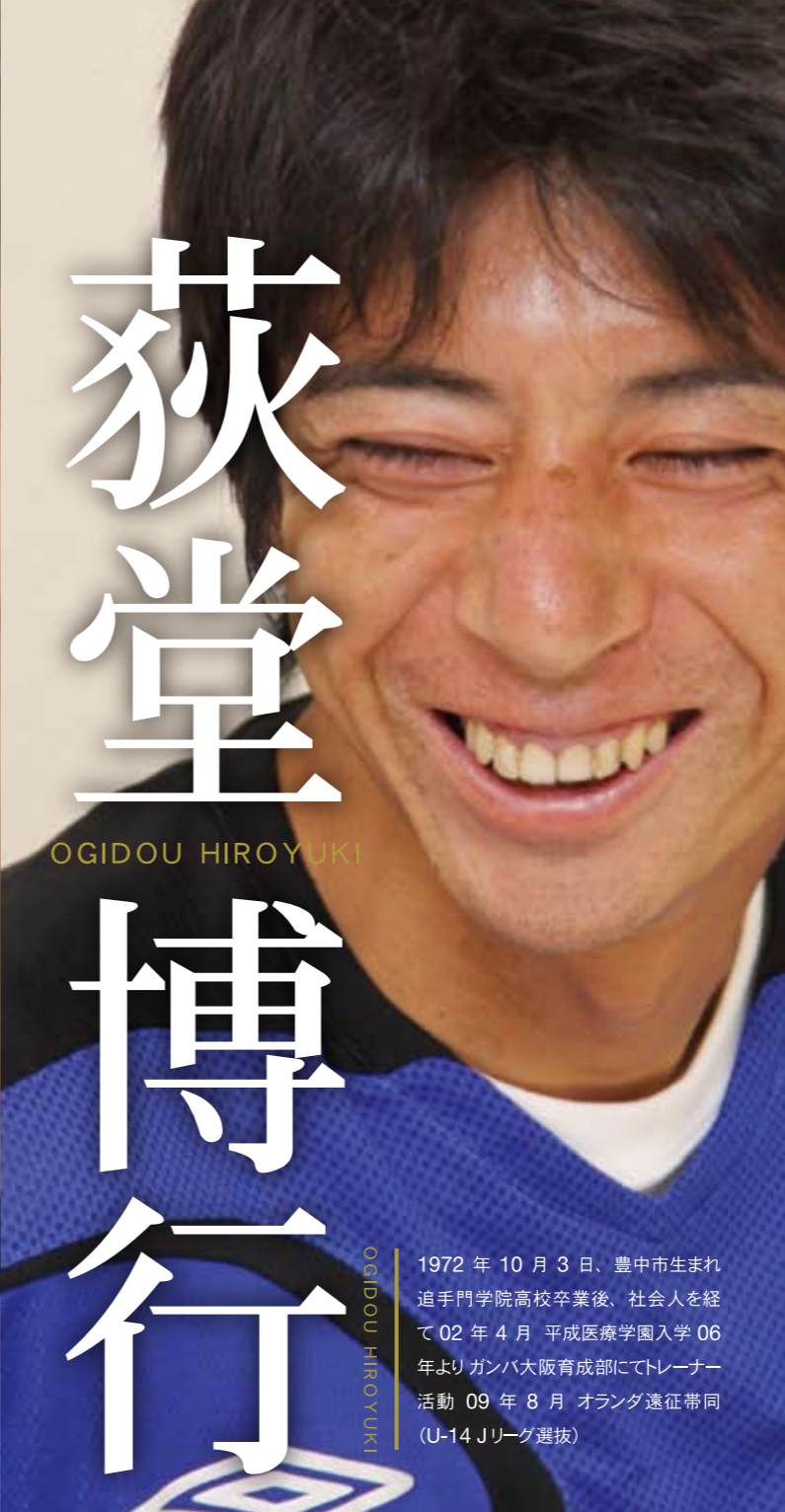
**この仕事のやりがいを実感されたエピソードはありますか？**

**萩堂** 「ユース世代であっても、リハビリでつらい思いをした選手の、全国大会に行けるのに行けないのかと、メンバーに入れるのか入れないのか、という心の葛藤がすごく見えるんですよ。その選手が全国大会のレギュラーとして出場し活躍したと聞いた時、『頑張ったんやなあいつ』という思いがあります。どの選手にも分け隔てなく接するというのが基本なんですけど、やっぱり、そういう選手は気になりますね」

**玉置** 「僕も同じように、ケガをした選手が復帰してゲームに出て活躍したり、大会で優勝した時が一番うれしいですね。その子がいかにありがたうと、玉置さんのおかげです」といってくれた時、『ああ、やっていて良かった』と思いました」

**逆に、この世代ならではの難しさってありますか？**

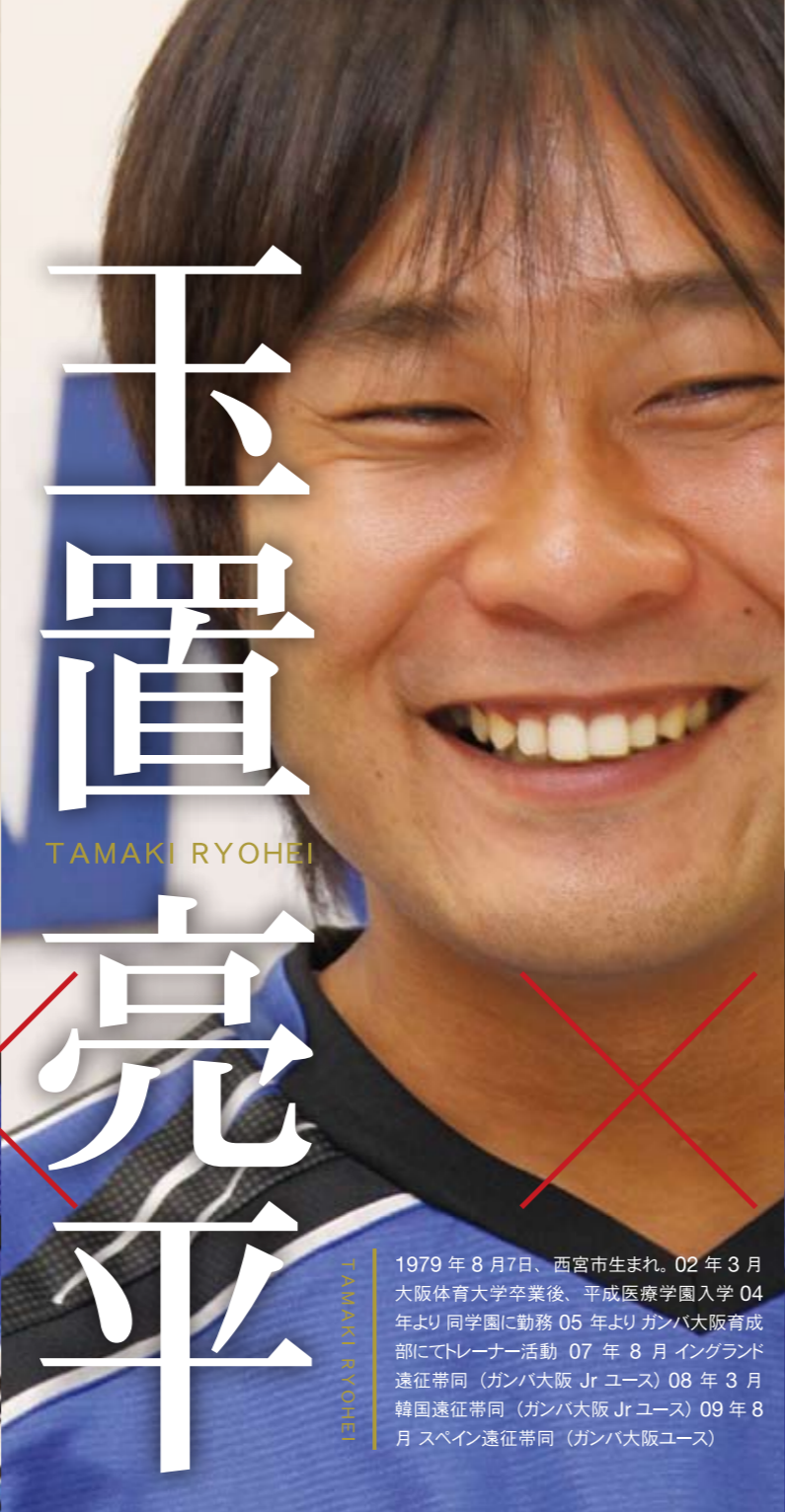
**益** 「アトレーナーって、グラウンド以外でも選手と接する時間が長いし、選手に一番近いと思うんですけど、でも、僕らが相手しているのは中学生、高校生なので、近くなりすぎて、友達になっちゃってしまっている気がします。なあなあになり過ぎず、指導者として接するうちに、というのが一番心がけていることです。最初は近くなりすぎてやりにくかったり、次は距離を取りすぎてやりにくかったりした経験があるので、今



# 萩堂 博行

OGIDOU HIROYUKI

1972年10月3日、豊中市生まれ。追手門学院高校卒業後、社会人を経て02年4月 平成医療学園入学。06年よりガンバ大阪育成部にトレーナー活動。09年8月 オランダ遠征帯同(U-14 Jリーグ選抜)



# 玉置 亮平

TAMAKI RYOHEI

1979年8月7日、西宮市生まれ。02年3月大阪体育大学卒業後、平成医療学園入学。04年より同学園に勤務。05年よりガンバ大阪育成部にトレーナー活動。07年8月 イングランド遠征帯同(ガンバ大阪 Jrユース) 08年3月 韓国遠征帯同(ガンバ大阪 Jrユース) 09年8月 スペイン遠征帯同(ガンバ大阪ユース)



# 賢益 明

EKI KENMEI

1983年11月5日、神戸市生まれ。02年3月 兵庫県立須磨友が丘高校卒業後、平成医療学園入学。04年より同学園に勤務。06年よりガンバ大阪育成部にトレーナー活動。09年8月 ブラジルキャンプ帯同(U-15 Jリーグ選抜) 09年 イングランド遠征帯同(ガンバ大阪 Jrユース)





怪我をした選手と玉置先生



選手を見つめる益先生

試合では何が起こるか分からない。  
だからこそ、いつも準備を  
怠ってはいけません。



## この仕事を選んだ時の、 「ぜひやってみたい！」 という気持ちをいつまでも忘れない。

tripartite talks

は少しずつバランスを見ながらやっています。監督とコーチと選手、誰に寄りすぎるとなると、どっちかが難しいところで、毎日毎日勉強です。」

**萩堂** 「3人がどういう共通意識の下で、例えば、玉置先生は厳しめに選手に接するようにして、益先生は選手に近く、僕はニータラに、3人で話し合いながら、それぞれの役割を持つ選手に接するようにしています。」

**玉置** 「僕は教員としても生徒を教える立場なわけですが、ガンバでも僕は育成年代を担当しているので共通するところも多く、リンクする部分があります。両方の活動をしながらどっちにも生かせる、そういう感じが今はしますね。」

**仕事の上で、あの時はもっとうまく出来たんじゃないかと、反省することもありますか？**

**萩堂** 「それは毎回、あそこはこうしておいた方が良かったんじゃないかと、もっと出来たんじゃないかとありますね。ある先輩に聞いたら「答えはない」といわれました。実はその時は先輩の答えの意味がよく分からなかったんです。でも、「どうしてこうなのかわからない」と選手に対する接し方だったり、ケアだったり、事前の予防だったり、いろいろ考えて準備はするけれど、試合では何が起こるか分からない状況があるので、それに対しての万全の答え、これを持ってあげれば100%というのはあり得ない。3人ともそうだと強うんですが、試合の中で起こりうることをシミュレーションしながら、常に心に怖いという気持ちがあります。だからこそ、何が起きるか分からないことに対して、いつも準備を怠ってはいけません。」

現在皆さんはスポーツトレーナーとして活躍されているわけですが、今後の目標や将来の夢を聞かせてください。

**玉置** 「今、ガンバというプロ組織に入らせてもらっている経験というのは、ほかでは出来ないものだと思います。これを続けていきたいという思いと同時に、この経験を生かして、最終的には開業したいという夢があります。体が動くうちは頑張ってお現場に出て、いろんな経験や知識を得て、いろんな人と接して、それから開業したいですね。」

**益** 「将来自分がどうなっていくのかは、まだ手探りの状態です。師匠のように柔道整復師として開業しながら柔道に関わりたいという希望は当然あるんですが、そういう先のことも、今の場でやっていると必ず死んで。」

**萩堂** 「僕は治療院に勤務しながら、平成のスポーツトレーナー世代のお手伝いもさせてもらっています。出来れば開業したいという夢は持っていますが、今仕事をさせてもらっているガンバから学ぶことが、まだまだたくさんあります。選手は育成年代ですけど、スタッフの方はプロです。仕事に対する考え方が、皆さん信念を持ってやっておられるので、自分ももっと成長しないといけないと思います。」

**最後に本誌の読者に対して、皆さんからメッセージをお願いします。**

**玉置** 「開業するにせよ、スポーツ現場で働くにせよ、僕がやりたくてやってる仕事です。当然辛い時もありますが、この仕事を選んだ時の、「ぜひやってみたい」という気持ちをいつまでも忘れない、日々一歩自分を向上させて頑張っていきたいと思っています。」

**益** 「ある先輩のトレーナーに『満足したら、成長は終わってしまうから』といわれました。その言葉を胸に刻みながら、これからも毎日頑張っていきます。」

**萩堂** 「先輩方が一生懸命頑張って、大変な思いをして切り開いてくれたから、僕たちトレーナーとして、柔整・鍼灸師として、今があると思っています。その感謝の気持ちを忘れてはいけません。実際ガンバの仕事に携わることが出来たのも先輩のおかげでした。それを慢心して、「自分はすごいんだ！」と錯覚してしまうと成長も止まるだろうし、誰も寄ってこないような人間になってしまうでしょう。成長し続ける意志と感謝の心を忘れないようにしたいと思います。」



左から玉置先生 / 益先生 / 萩堂先生



前立腺がんは、欧米においてがん上位であり、アメリカでは1位の発症率である。白人の罹患率が高いとされている。日本でも5位にランクされており、2015年には我が国でも4倍になるとの予測もある。食の欧米化との関連が深いのでは、ともいわれている。

本症例は、前立腺がん治療を西洋医学の治療より約3ヶ月間にわたり、先行して鍼灸治療を行なうことができ、主症状および腫瘍マーカー（PSA）も正常値に復することができた。

西洋医学の薬物影響により、四診、なかでも脈象、舌象、顔面診などは、その本来あるべき病態を呈していない場合が多くみられる。とりわけホルモン剤などはその影響がおおきいといえる。今回、ホルモン（内分泌）療法を行なう前の身体の状態が記載できたので、そのような意味においても参考になれば幸いである。

蠶溝穴について

足の厥陰肝経上に、蠶溝（れいこう）穴がある。この経穴は十五絡（十五別脈ともいふ）。絡脈は経脈から直接別れ出ている最も重要な脈であるところから、十五絡脈といわれ、全身を網の目のように絡って人体の表裏内外を通じてさせる作用がある。『靈枢経脈篇』十五絡病証には、「その病、氣逆するときは則ち壅腫れ卒疝す（壅丸が腫れにわかに疝痛を起す）。実するときは則ち挺長す（異常勃起を起す）。虚するときは則ち暴痒す（陰部の激しい痒み）。之を別れる所に取るなり（蠶溝を取らず）」とある。

また歴代の医家は壅丸腫痛を「疝」（疝の意味は色々有るがここでは生殖器の病症を指す。陰囊や壅丸が腫大し疼痛する・男女の外生殖器が腫痛し潰爛して膿が出る・膈や尿道から白い粘液物が流出するなどの症状）の一種とみなしており、『沈氏尊生書』には「丹溪いわく、この蠶溝穴・疏肝・理氣・調経。肝経の十五絡穴であり、肝経の湿熱、熱毒を除く。西洋医所見

紹介の病院にては、PSAの数値が異常に高いのが転移（主に骨がん）を疑いCTの検査（1月9日）を先ず行ったが、転移は認められなかった。次に肛門部より針生検（1月17日）を9箇所行い、全てにがん組織があった。西洋医の所見（1月25日の説明）は、Stage C（他の臓器への転移は無いががんが前立腺の皮膜を超えて外にでている場合）でがんが広がっており、手術・放射線治療も不適で、悪い状態のことがあった。また、残る治療法はホルモン療法とのことであった。

西洋医には、患者さんが12月6日より鍼灸治療をしている旨を伝えており、1月25日の時点で頻尿・尿漏れが軽減しつつあったため、次の血液検査まで鍼灸治療を優先して行い、その後ホルモン療法も併行治療することとなった。本患者さんは、これまで当院にて膝関節炎、糖尿病、少陽病（傷寒病）の眩暈・寒熱往来などの疾患が治癒した経験があり、鍼灸治療に対して信頼が厚い方である。

経過と考察

初診時から数回まで、関元穴の刺鍼では鍼の響き感は無かったが、関元穴周辺の硬結が縮小するにつれ響き感が増大した。蠶溝穴は内踝より五寸で骨際に取り、迎法（刺鍼時に鍼尖を経脈の循行方向と逆に鍼を進め操作する。）により、硬結に捻転雀啄法し、脈象（滑脈の緩み）を確認して置鍼。

脈象の変化では、関元穴や中極穴よりも蠶溝穴の刺鍼が滑脈の緩みが顕著であったが、あくる日には、また脈象（特に左関元）は戻っていた。これは、肝熱（邪熱）が強いことを表している。舌診の変化では、徐々に紅味が薄れ、裂紋も改善し、薄白苔も生じましたが、両舌辺部（肝胆の部）の紅絳の薄れは遅くに改善した。

病は湿熱の経にあるに始まる」とある。（実際には寒証・熱証・湿証・氣滯などがある。）つまり、肝経に湿熱、熱毒が盛んであれば、陰部および生殖器疾患の病症の出現を示唆している。このような場合、十五絡の蠶溝穴が有効な経穴として使用できる。

症例提示

症例：71歳・男性・163cm・68kg。主訴：前立腺がん。初診日：2008年12月6日。

症状および臨床所見：数ヶ月前より頻尿で尿量も少なくすっきり出ない（16回/日、夜間3回）、尿漏れがある。12月3日に泌尿器科を受診。血液検査はPSA15.722ng/mlの高い数値であり、大病院を紹介されている。当院にても鍼灸治療を希望し来院。（PSA：前立腺特異抗原の略で、前立腺腫瘍マーカー。正常値は0〜4ng/ml、4〜10ng/mlは前立腺炎または前立腺がんの疑い、10ng/ml以上は前立腺がん

6 「東洋医学のすすめ」

蠶溝穴の効用と

前立腺がんの症例



姫路東洋医学研究会代表

平田耕一

HIFATA KOUICHI

が濃厚とされている）。そのほか、高血圧（205/120mmHg）、頭暈・腰のだるさ・後頭部痛（天柱・風池穴附近の皮膚は赤くなっている。これは腎虚で虚陽上浮や肝陽上亢の場合によく診られる。患者さんは以前から赤くなっていたので痣（あざ）だと思っていたらしい）。

東洋医学的診察および診断

脈診：1息5至半・左尺位虚・脈象：滑脈（特に左関上が顕著であり、滑脈にやや洪脈を帯びている）。滑脈の主病としては、嘔逆・咳嗽・伏痰・水飲・蓄血・中満・宿食・泄利・疝病などがあり、左関上の滑脈が特に著明なものは、肝熱による頭暈を現す。この症例は滑に洪脈を帯びており、肝熱が顕著といえる。顔面診：中焦部（上焦部（鼻およびその周辺部）肩の上）に紅味著明。舌診・暗絳舌、無苔、舌中央部裂紋著明。

暗絳舌無苔は、陰虚であり、裂紋は熱により陰液の消耗が激しいことを表している。背候診：腎俞穴虚、肝俞穴は表部緊張あるも深部は虚。その他、心俞、膈俞、胆俞、脾俞、胃俞穴にも反応あり。腹診：心下と脾胃（不容穴周辺部）は緊張。恥骨上縁部から関元、四滿、水道穴の両付近まで硬結（握り拳大）有り。手足の主要穴反応：太衝、臨泣、公孫、衝陽、陰谷、照海、蠶溝穴は圧痛著明。弁証：以上の所見より、肝腎陰虚、肝湿熱（熱毒）の虚実挟雜証と考えた。

治法：肝腎の陰氣（特に腎陰）を補い、肝経の湿熱（熱毒）を除く。主治穴：陰谷・関元・百会・蠶溝穴。そのほか、陰谷穴の代わりに太谿や照海、腎俞、肝俞、脾俞、中極、阿是穴（大赫、婦来付近の穴）、天柱、風池穴を適宜取穴。手技：陰谷穴（または照海、太谿）は補法置鍼・百会穴置鍼、関元平補平瀉置鍼・蠶溝、中極（または阿是）穴は瀉法置鍼を施した。蠶溝、関元、中極穴などは寸6の5番鍼、他の経穴は寸3の2番鍼を用いた。置鍼時間十分。主治穴の効用

陰谷穴：理下焦・徐脹滿、腎経の合穴（水穴でもある）で、百会穴との配穴により腎陰を補い、虚熱を除くことができる。百会穴：清熱開竅・平肝熄風・健腦安寧。肝経が巔（てん・百会）を絡っていることより、肝陽亢を清す。肝熱が盛んとなれば心神不寧が現れるので、安神安寧（精神の安静）の作用としての効果もある。関元穴：小腸募・溫腎壯陽、培補元氣・通調衝任・培腎固本。腎経、肝経の交会穴でもあり、腎精を補う。また逆氣を降ろす。中極穴：膀胱募穴・利膀胱・理下焦、補腎調氣。またの名を「氣原」ともいいう元氣を保つツボを指す。腎、膀胱の氣化作用を促す。また肝経との交会穴であり肝熱を除く。

- ②2009年2月24日：PSA1.9ml 正常値範囲となる。主症状は改善。以後、ホルモン療法を併用。
- ③2009年4月7日：PSA0.5ng/ml
- ④2009年6月2日：PSA0.2ng/ml

おわりに

本症例では、がん転移は認められなかったが、前立腺がんは骨がん、特に骨盤や脊椎に転移が多くみられる。西嶋由貴子氏の論文「尿路がんの脊椎骨転移に関する研究」によれば、複雑な静脈叢（前立腺静脈叢・膀胱静脈叢・脊椎静脈叢など）を形成しが細胞が静脈から転移する、とある。

蔵象では、腎は「二陰を主る、骨を主り、脳髓を主る」とあり、また肝は「疏泄を主る、条達を好む（氣滯、瘀血との関係）」とある。陰器の循経では、任脈、督脈、腎経、肝経が主となり、これらのことが鍼灸治療においてはヒントになると思われる。

また、肉類、油物などは湿熱を形成し、肝胆湿熱を生じやすくなるため、前立腺がんの発症が多くなり、食の欧米化といわれているのではないだろうか。

これまでの臨床経験から感じていることは、前立腺炎の多くは腎虚ベースで治療する場合が多くみられたが、前立腺がんでは、湿熱あるいは熱毒の病邪を意識して治療に臨むことが必要であるのではないかと一点である。それに対しては、蠶溝穴をうまく運用することが肝要である。

本論文は、学術誌に掲載されたものですが、興味深い症例ですので、「田の田タイムズ」にも加筆掲載をお願い致しました。

【編集部より】

PSA値の推移  
①2008年12月6日 PSA15.722ng/ml  
12月6日より鍼灸治療開始。

このことは他臓に比べ肝に熱邪が強かったことを示している。

12月6日〜2月23日まで（12月19診、1月22診、2月16診）計57回の治療を行ない、2月24日の血液検査ではPSA1.9ng/mlの正常値となった。

症状は、先ず頻尿、尿漏れがだんだんと改善し、後頸部の赤味も無くなるとともに、頭痛、眩暈も改善し、血圧も正常となった。

関元穴・中極穴周辺の硬結も縮小し、消失したことは、流注上の交会穴であることと関係が深いのではと思われる。これらの経穴は、足少陰腎経脈流注では「腎は足の少陰の脈なり、小指の下より起り……股内の後廉を上り、脊を貫き腎に属し膀胱を絡う（股内の後廉を上り、脊を貫き、督脈の長強穴に交会し、遶りて前に出で、横骨、大赫、氣穴、四滿、中注、盲骸の所で腎に属す。膈を下り任脈の関元、中極を過ぎ、膀胱を絡う）」とあり、また、足厥陰肝経脈流注では「肝は足厥陰の脈なり……膈の内廉を上り、股陰を循つて毛（陰毛）中に入り、陰器を過ぎ小腹に抵り（陰器を繞り小腹に抵りて上り曲骨、中極、関元穴に交会し）、胃を挟み肝に属し胆を絡う」とある。

中極、関元穴は任脈上にあるも腎経、肝経の両



## 格闘技は医療の原点である

「雅祭」は新入生の歓迎および先生方との交流の場です。近隣の方々へ平成医療学園を知っていただき、柔道整復学や鍼灸学に接する絶好の機会として昨年より始まりました。今回は昨年参加した在校生が実行委員として活躍し、前回よりも素晴らしい完ぺきな学園祭となりました。午前11時半の開祭セレモニーのラッカーを皮切りに、中津第2校舎での本校職員による鍼灸・柔道整復治療体験は近

屋台村



総合格闘技

### 屋台村 (バスケットコート)

■飲食 ■ゲーム ■フリーマーケット

### 学術・体験 (中津第二校舎)

■授業風景・行事写真・教員写真の展示  
■最新医療機器体験 ■医療機器・書籍販売  
■特別講演 ■治療体験

### イベント (ヒーローハーバー)

■コンサート ■H-1 グランプリ  
■平成アイドル No.1 決定戦  
■総合格闘技

### 雅祭イベント内容

隣の方々にたくさん集まっていたいただき整理券を配るほどの大盛況。また柔道場では東京より格闘技D.T.二重作拓也先生をお招きし「格闘技医学」in雅祭が開催されました。総合格闘技の現役チャンピオンが参加し、在校生50名以上と一緒に汗を流しました。バスケットコートでは、フリーマーケット、貞友会の先生方によるスパーボールすくい、サイコロステキ・ワイン・プレミア焼酎など屋台とは思えない品揃えで、明るいうちから参加者のお酒のペースがかなりの速度で加速していった事は...一方ヒーローハーバーでは柔道整復2年生塩崎さん率いるサングラフィックによるバンド演奏でステージはハイボルテージに！その熱くなったステージで学生、教職員による仁義なき戦い、平成の爆笑王を決める「エゴロ」が開催されました。そしてリング上ではお待ちかね!!雅祭一番の人気イベント「平成アイドルNo.1決定戦」が行われ、会場はSRS (スペシャルリングサイド)を陣取った人々で異様な盛り上がり。その後リングでは社会人プロレスやプロ格闘家同士によるエキシビジョンマッチ。教職員が満足な練習もせず、リングに上がり果敢に戦いました。心が折れそうになった先生を救ったのは平成No.1アイドルのラウンドガール柔道整復3年生松浦純子さんの超セクシーなコスチュームであることはいままでもありません。屋前から始まった祭りはどの会場もヒートアップし続け、18時の岸野理事長の「最高、最高裁判所!!!」でファイナルを迎えました。実行委員、在校生、教職員、全柔協の先生方、さらには地域の方々皆さんが充実した時間を過ごせる一日となりました。来年もさらに熱い祭りになるよう、皆で協力し、共に闘って行きましょう!

平成21年度  
学校法人平成医療学園

## 入学式

緊張した面持ちの入学生。  
それぞれの決意を胸に...  
entrance ceremony



平成21年4月6日(日) 大阪市北区のホテル阪急インターナショナルにて、平成21年度の平成医療学園専門学校の入学式が行われました。やや緊張した面持ちで式に臨んだ、柔道整復師科、鍼灸師科、東洋療法教員養成学科の入学生からは、「次代の柔道、鍼灸業界を担う平成の医療人になる!」という決意が感じられました。

また、今年度から新たに姉妹校とし

## ボランティア活動



学校とは違う現場の中で、  
非常に学ぶことが多かった

volunteer

平成21年8月9日(日)にガンバ大阪人工芝練習場で行われた小学生のサッカー大会(スポーツソートソリティ2009近畿大会)に、平成医療学園専門学校の教員と学生がメディカルスタッフとして参加しました。また、大会受付前にスポーツ障害相談所のブースを設け、選手やその保護者の方からの相談に応じました。当日は朝から雨が降ったりやんだりの天気でしたが、ガンバ大阪育成部でのトレーナー経験のある教員や卒業生を中心とし、学生スタッフと共にトレーナー活動に励んでいました。大会中、本校のスタッフの活動が必要な場面もありましたが、重傷者もなく、無事大会は終了しました。参加した学生からも、学校とは違う現場の中で、非常に学ぶことが多かったなど、有意義なボランティア活動であったとの感想が寄せられました。今後、平成医療学園では、スポーツ大会をはじめ様々な活動にボランティアとして参加する予定です。卒業生の方もどんどん参加ください。

## 国家試験

test  
柔道整復師科  
**89%**  
合格率: 全国平均 70.3%  
合格者: 189名

鍼灸師科  
**94%**  
合格率: 全国平均 78.7%  
合格者: 82名

平成20年度 卒業生 合格実績

て仲間入りした、なにわ歯科衛生専門学校に入学式に出席しました。歯科衛生士学科の入学生はすべて女性のため、昨年までは少し違った雰囲気の入学式であったように感じます。柔道整復・鍼灸と歯科衛生と、業界は異なりますが、同じ平成の医療人を目指す仲間として、切磋琢磨し勉学に励んでほしいと思います。

平成21年度  
第42回(社)全国柔道整復学校協会

## 柔道大会 優勝報告

champions

本年も8月11日、国立代々木体育館で、第42回柔道大会が行われました。全国より41校が参加し、男子は1部(12校)、2部(16校)3部(17校)制、女子は2部制にて各校2試合のリンク戦を実施し、ポイント上位の各4校が決勝トーナメントに進出し優勝を争いました。

昨年度は左記のように優秀な成績を修めていきます。合格した皆さん、本当におめでとうございます。治療家としての勉強は、資格を取りやがて開業した後、一生続きます。これから一層、自己研鑽を頑張ってください。

## How do you think about the volunteer?

ボランティアについて、どう考えますか?

これからの時代は、柔道整復師や鍼灸師ひとりひとりが各施設所でできる、社会奉仕の一環としてのボランティア活動を、見直してみる時期だと思います。そして、それぞれの施設所で、ボランティアの拠点を作るのではありませんか。身近にできること、私たち柔道整復師や鍼灸師ができることを模索してみましょう。時間に束縛されることも少なく、誰もが参加しやすい、患者さんも参加できる。そんなボランティア活動が、必ずあるはずですよ。その様なボランティアに関する情報を収集して、提供してください。学校が、ボランティア活動の情報交換の源になればと思います。

〈内野勝郎〉

## ひとことコラム

あるブログでの「あなたは、ボランティアをしていますか?」の質問に、「はい!」と答える方が年々増えているとのこと。しかしながら、「ボランティア活動時間の国際比較」のデータによると、1日あたり週平均の活動時間は、アメリカの22時間に対し日本4時間、アメリカの5分の1にしか過ぎないのが現状です。(総務省統計局の資料より)さて、今年九州や山口、兵庫の豪雨や、静岡の地震など多くの災害に見舞われました。このような災害の時に、炊き出しをしたり、衣服を提供したり、これらもボランティアの手段であります。私たち医療に携わる者は、知識と技術をもってボランティア活動に貢献する。その労力をもって、貢献することができるといえます。また先般、私たちの有志が、香川で開催されたトリアスロン大会、ホノルルマラソンなどに、医療ボランティアチームとして参加しました。しかし、この様な特定のケースに限らず、日常生活、日常診療の中で、ボランティア活動はできないでしょうか?



本校は3部に属し、予選リンク戦にて第1試合は東京医療専門学校(東京)と対戦し、3勝2敗で勝利し、続く第2試合は行岡整復専門学校(大阪)と対戦し、4勝1敗で勝利し、3位で予選を突破しました。続く、準決勝は日本医学薬整鍼灸専門学校(東京)と対戦し、5戦全勝で決勝戦へ進出しました。決勝戦は関東柔道整復専門学校(立川市)と対戦し、吉野が判定にて惜敗するも、本比田、小田島とが勝利し、中川が惜敗、室が引分により、代表選手による決定戦となりました。

比田、室が選ばれました。表彰こそありませんでしたが、先鋒の吉野が全体に勢いをつけてくれたこと、また、兼原、中川、土肥慶太の試合しでいる選手たちへの応援姿勢、出場こそできなかったが柔道部で日頃汗を流している仲間、長年ご指導くださった井上英哲監督のお教え、そして本校教職員並びに学生からの暖かい声援により、悲願の優勝を達成し、次年度の2部昇格を決定することができました。